

ほけんだより 11月

2019年
11月7日(木)
山崎東中学校
保健室発行
NO.10

薬物乱用防止教育がありました

10月25日(金)、山崎警察署の池田さんに来ていただき、薬物の危険性や怖さについて教えていただきました。

今年の1月から9月までに宍粟市内でも薬物によって検挙された人が3名いるということを聞きました。身近なところでも危険な薬物を使用している人がいるという現状を聞き、正直怖いと感じました。今回、普通の高校生が軽い気持ちでもらった薬物に手を出してしまったこと



ことから転落していくというビデオを見ました。最初は薬物によって一時的な快樂を得るだけだったはずが、それが当たり前になってしまい、今度は薬物が切れるとイライラして精神、身体に苦痛を生じるようになり、正常な思考ができなくなって、どうやっても手に入れたと思うようになります。家族の財布からお金を抜きとったり、人から

お金を借りるシーンもありましたが、いろんな人に迷惑をかけていきます。また、犯罪に手を染めてしまったり、人を傷つけたり、事故を起こしたりすることもあります。さらに回を重ねるごとに、これまでの量では効き目を感じなくなり、量も増えていきます。このようにして「抜けられなくなり」、依存症になっていくのです。自分



だけでなく、家族もボロボロ、ズタズタにしてしまうのが薬物なのです。みんなには自分の未来を大切にしてほしいと願わずにはいられません。正しい知識と薬物の誘惑に負けない強い意志をもち、仮に誘われても、きっぱりと断れる勇氣を持ってください。



誘惑に負けるな!

(感想)

・今日のビデオを見て、薬物を使用した人たちはとても怖いと思いました。友達や先輩から「元気になる薬だからあげる」と言われたら僕は断ります。実際にそんな元気になる薬なんか聞いたこともないし、そういうのを聞いたら怪しいなとわかんと思います。もし、実際に自分がそういう場面にあったら今日学んだことを思い出して避けたいと思います。(男子)

・今日の薬物乱用防止教室を終えて、薬物をやった人の末路が悲惨すぎるし、薬物の作用で体や精神がボロボロになるして、絶対にしてはいけないことだと、改めて理解できました。これを心に刻んでしないようにしたいと思います。そして友達がしたら止めようと思います。(男子)

・今日の薬物乱用教室では、「薬は危ない」「捕まること」とは思っていたけど、今日のビデオを見て、一度手にとって使ってしまうと、もう元には戻れないということや自分一人だけに影響が及ぶのではなく、家族や友人にまでも被害がいくということを知り、絶対に手に入れたくないし、やりたくないです。そして、しっかりと断れる人になりたいと思います。(女子)

さまざまな薬物

大麻

大麻は依存性がないと思われていることがありますが、実際は依存性があります。脳に作用し、記憶力や学習能力の低下などを引き起こします。



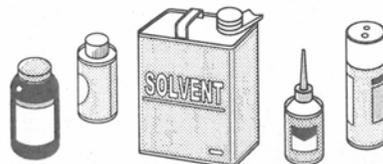
覚醒剤

覚醒剤には、神経を興奮させる作用があります。乱用すると幻覚や妄想が現れ、乱用をやめてもこうした幻覚・妄想が再燃することがあります。



有機溶剤(シンナーなど)

有機溶剤には脳をまひさせる働きがあり、酩酊状態になり、幻覚、妄想、意識障害などが起こります。長期的な乱用で脳が萎縮することもあります。



危険ドラッグ

覚醒剤や大麻に似た物質が入っていますが、具体的に何が入っているかは不明のため、何が起るかわからずとても危険です。

